



日本労働組合総連合会
和歌山県連合会
〒640-8317
和歌山市北出島1丁目5-46
TEL (073) 436-0501
FAX (073) 436-5226
発行責任者 濱地 正由

青年委員会「第6回ユースラリー」を3年ぶりに開催

2022年5月28日（土）和歌山市「青少年国際交流センター（和歌山市加太）」において、青年委員会「第6回ユースラリー」を34人参加のもと開催しました。

河原田青年委員会事務局長の挨拶で開会し、まず各班員で自己紹介等を行い、その後はグループに分かれて、ワークルール等に関するクイズ対決を行い大変盛り上がりました。次に、学習会として一般社団法人ソーシャルギルド理事の山本佳史さんに「SDGs」に関する基礎的なお話いただき、学習会の中のグループワークでは、各グループで「SDGs」17の目標の中から関心のある目標をそれぞれ選択し、その目標を達成するために何をすべきかについて意見交換を行いました。昼食後、フィールドワークとして語り部による友ヶ島散策を行い、参加者同士の交流を深め、ユースラリーを終了しました。

参加者からは、久しぶりに職場を超えた交流や意見交換を行う事ができ、大変有意義だったとの意見を多数いただきました。



▲学習会の様子



▲友ヶ島で記念撮影

臨時（第22回）大会を開催

2022年6月6日（月）和歌山市「和歌山ビッグ愛」において、連合和歌山事務局長欠員に伴う役員改選を行うため、「臨時（第22回）大会」を開催しました。

大会では役員体制について、全会一致で承認され、新役員として、会長に山本龍一（前会長代行）、会長代行に加藤康夫（前副会長）、事務局長に濱地正由（前会長）が就任しました。

その後、山本新会長から「和歌山労働界のステータスを上げる、この方針を継承し、連合和歌山一丸となって働く仲間の生活の安心・安定をめざして連合運動に邁進していきたい」と意気込みが述べられ、最後に、団結ガンバロウによって大会が締めくくられました。

連合和歌山役員体制

役 職	氏 名	出身産別
会長（非専従）	山 本 龍 一	基幹労連
会長代行（非専従）	加 藤 康 夫	自 治 労
事務局長（専従）	濱 地 正 由	電力総連



▲団結ガンバロウを行う執行部と臨時大会出席者

男女平等月間学習会」を開催

2022年6月11日（土）和歌山市「和歌山城ホール」にて、男女平等参画学習会を60人参加のもと開催しました。

冒頭、主催者を代表して男女平等参画推進委員会の臼杵委員長から主催者あいさつ、藤本真利子和歌山県議会議員から来賓を代表してのあいさつの後、学習会に入りました。

第1学習会では、LGBT法連合会の神谷悠一事務局長に、『「LGBT」について』と題し講演をいただきました。講演では、「LGBT」や「SOGI」に関する基礎知識や労働組合がそれらの問題に取り組む必要性等についてお話いただきました。

第2学習会では、ホルモンビューティー塾 ETSUKO さんに『“顔相学”自分のことどう思っていますか？自分の知らないことたくさんありますよ』と題し、“眉の形で顔の印象が変わる”を実演を交えた講演をしていただきました。講演終了後も ETSUKO 先生のご厚意で希望者には眉の描き方を個別にレクチャーしていただき、参加者にも大好評でした。



▲学習会の様子



▲眉の整え方の実演

青年委員会「平和学習会」を開催

2022年6月18日（土）和歌山市「和歌山県民文化会館」にて、平和学習会を39人参加のもと開催しました。

冒頭、主催者を代表して青年委員会の高尾副委員長から主催者あいさつを行い、学習会に入りました。

学習会では、まず、DVD「和歌山炎上」（和歌山市立博物館提供）を上映しました。DVDでは、和歌山大空襲を経験された方から当時の状況が語られていて、当時がいかに悲惨な状況であったかということを知る機会となりました。

次に、和歌山県遺族会連合会の語り部の木下登紀子さん、山本勝美さんに、戦争で家族を失った当時の状況やその後の生活についてお話いただきました。

最後に青年委員会の河原田事務局長から、講師の木下さん、山本さんへの御礼や平和学習会を通じて若い世代に戦争の悲惨さや平和であることの大切さを今後も伝えていきたいと閉会のあいさつが述べられ、学習会を終了しました。



▲学習会の様子



▲学習会の様子

連合和歌山地方議員団会議第21回総会を開催

2022年6月20日（月）和歌山市「和歌山県勤労福祉会館プラザホープ」において、「連合和歌山地方議員団会議第21回総会」を開催しました。

冒頭、議長の長坂県議会議員より代表者あいさつがあり、その後、山本連合和歌山会長、続いて岸本衆議院議員から来賓あいさつがありました。

総会では、2021年度の活動報告・会計決算報告・会計監査報告があり、2022年度の活動方針・予算・役員体制について承認され、連合和歌山、地方議員団が連携を図り政策実現に向け取り組んでいくこと確認し、総会を終了しました。

この総会に地方議員団会議の議員13人が出席しました。



▲総会であいさつする長坂議長

連合和歌山政策局と連合和歌山推薦議員（県議会議員）との意見交換会を開催

2022年6月20日（月）和歌山市「和歌山県勤労福祉会館プラザホープ」において、連合和歌山「2023年度政策・制度要求と提言」策定に係る連合和歌山政策局（7人）と連合和歌山推薦議員（県議会議員5人）との意見交換会を開催しました。

冒頭、加藤政策局長からあいさつが述べられた後、連合和歌山推薦議員の方々から和歌山県における政策課題等について発言いただき、その後、政策局との意見交換を行いました。LGBTに関してパートナーシップ制度の制定に向けた取り組み、和歌山における人口減少、高齢化、若者の県外流出に対し、新たな産業の創出することの必要性、災害に強いまちづくりのためのインフラ整備の重要性などについて意見交換を行いました。この意見交換で出された意見については、連合和歌山「2023年度政策・制度要求と提言」に反映していきます。



▲意見交換の様子

次期和歌山県知事選挙に岸本周平氏を推薦決定

2022年7月4日（月）に開催された第12回執行委員会において、任期満了に伴う和歌山県知事選挙（2022年11月27日投開票）に岸本周平（きしもと しゅうへい）氏を推薦決定しました。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

【和歌山県知事選挙】 岸 本 周 平 氏



- 1980年 東京大学法学部を卒業・大蔵省に入省
- 2000年 経済産業省・財務省課長を歴任
- 2009年 第45回衆議院選挙にて初当選
- 2012年 経済産業大臣政務官・内閣府大臣政務官に就任
- 2021年 第49回衆議院選挙にて5期連続小選挙区で当選

男女平等参画に関する要請を実施

2022年7月13日（水）和歌山市「和歌山労働局」において、男女平等参画に関する要請を実施しました。冒頭、坂梨女性委員会委員長からあいさつ、続いて青木雇用環境・均等室長からあいさつを行い、要請書を提出しました。

その後、労働局から要請書に対する回答がなされ、「仕事と育児・介護等との両立支援」「ハラスメント対策」等について意見交換を行いました。

連合和歌山は、男女が均等な機会と待遇で、仕事と生活の役割と責任を分かち合いながら働き続けることのできる、「男女平等参画社会」の実現を目指して引き続き取り組みを行ってまいります。



▲要請書の提出

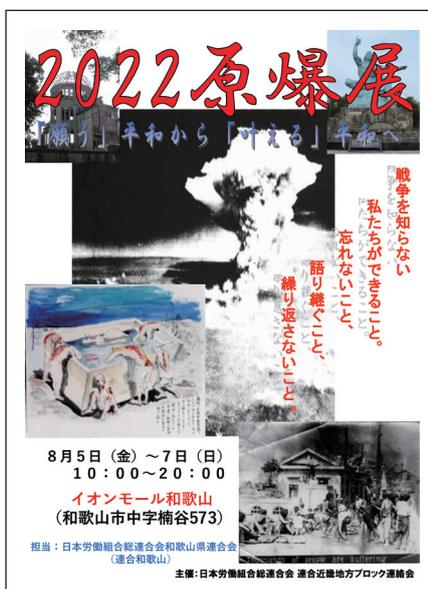


▲意見交換を行う坂梨女性委員会委員長

2022 原爆展を開催

2022年8月5日（金）～7日（日）にかけて、イオンモール和歌山において原爆展を開催しました。

原爆展は、「若者が平和運動を進めることが大事（次世代への継承）」との思いから、連合和歌山青年委員会を中心となって毎年開催しており、今年は、広島・長崎の原爆投下直後の状況や被爆の様子を伝える写真パネルの展示に加えて、和歌山大空襲の写真パネルの展示も併せて実施しました。開催期間が原爆の日と重なっていたこともあり、前年度を大きく上回る、1,970人の方々にご来場いただきました。また、来場者からは今後もこの活動を続けてほしいと声をかけていただきました。ありがとうございました。



▲学習会の様子



▲学習会の様子

第3回地域活性化フォーラムを開催

2022年8月24日(水)和歌山市「和歌山ビッグ愛」において、第3回地域活性化フォーラムを開催しました。

冒頭、臼杵副会長の挨拶の後、和歌山県環境生活部環境政策局環境生活総務課瀬谷班長から「脱炭素社会の実現に向けた取り組み」と題してご講演をいただきました。

講演は、脱炭素社会に向けた世界・日本の取り組みについて、また企業における脱炭素に向けた取り組み事例の紹介などを中心に非常にわかりやすくお話して頂きました。参加者からは、脱炭素社会の実現に向けて取り組まなければならないことがわかり、非常に有意義な機会になったとの意見がありました。このフォーラムに構成組織からの参加者や連合和歌山地方議員団会議を含めて75人が参加しました。



▲開会あいさつを行う臼杵副会長



▲講演を熱心に聞く参加者

政策学習会を開催

2022年9月5日(月)和歌山市「和歌山ビッグ愛」において、政策学習会を開催しました。

まず、連合本部 富田総合政策推進局長から「2022年度連合重点政策」について、コロナ禍における雇用・生活対策や雇用の安定と公正労働条件の確保等についてなど、連合の取り組みについてご講演をいただきました。

次に、連合和歌山加藤会長代行(政策局長)から地域での政策課題を集約し連合和歌山が策定した連合和歌山「2023年度政策・制度要求と提言」について、和歌山県におけるマイナンバーカードの普及状況や人口減少の現状や課題等に触れながら、説明していただきました。

なお、「政策・制度要求と提言」については、毎年和歌山県に要請しており、今年度については2023年1月頃に実施することとしています。

最後に、長坂隆司和歌山県議会議員より、県外調査の報告、県議会での一般質問や県内調査の報告等の議会報告をいただき、学習会を終了しました。

なお、本学習会には、次期和歌山県知事選挙に向けて連合和歌山が推薦している、岸本周平立候補予定者にお越しいただき、あいさつをいただきました。



▲政策学習会の様子



最低賃金の周知を目的とした街頭行動を実施

2022年9月27日（火）JR和歌山駅前において、2022年10月1日から改定される「最低賃金」（889円*前年比+30円）周知のための街頭行動を実施しました。

当日は、連合和歌山執行部から「啓発ティッシュ」を通行人の皆様に配布しながら、「最低賃金」の周知を行いました。



▲街頭行動の様子

どっちが高い？ あなたの時給と 和歌山県の最低賃金

2022年10月1日から和歌山県の
地域別最低賃金は
889時給円

- 最低賃金は、国が法に基づいて定める「賃金の最低額」です
- 最低賃金は、都道府県ごとに毎年、見直しされています
- 会社は、最低賃金額以上の賃金を支払う義務があります
- 最低賃金額を下回る賃金は法律違反となり、下回った場合、差額を請求できます
- 最低賃金は、パートタイマーや学生バイト、部活、アルバイトなど雇用形態や呼称に関係なく、原則すべての労働者とその使用者に適用されます

あなたの賃金は・・・？

午後10時～午前5時に勤務する場合深夜割増25%を加算

※深夜（午後10時～午前5時）に勤務する場合、少なくとも25%の割増賃金がかかります。「深夜割増」以外にも「時間外割増」や「休日割増」が加算されるケースがあります。詳しくは、連合へご相談ください。

「おかしいな？」「低いかも？」と思ったら
なんでも労働相談ホットラインへ

労働相談チャットボット「ゆにぽ」

スマホ・携帯OK

0120-154-052

日本労働組合総連合会和歌山県連合会（連合和歌山）
<https://www.rengo-wakayama.jp/>

連合和歌山 検索